

北京＋20以降の主な課題の提案

十文字中学高校校長
国連婦人の地位委員会日本代表
橋本ヒロ子

下線部は北京行動綱領の12領域に加えたテーマ

1. 女性・女兒の人権に基づいたジェンダーの主流化
法制度、制度的仕組み、社会全体におけるジェンダーの主流化
2. 女性・女兒と貧困、ケア労働及び社会福祉
母子家庭、女性高齢者世帯
3. 女性・女兒と教育、キャリア開発
女性・女兒と中等・高等教育
女性・女兒と理系教育
4. 女性・女兒と健康
Reproductive health and rights
子ども婚
中国・インドなどアジアの国における男子選好による女子胎児の中絶なども含む
5. 女性・女兒に対する暴力
宗教的原理主義関係者による教典の拡大解釈（名誉殺人、FGM など）
強姦、強制妊娠などが紛争の道具として使われる。
男子選好→女の子の胎児の中絶（中国、インドなど）世界の人口構成の男性割合増
6. 女性と経済
女性非正規労働者の問題
農山漁村女性
高齢女性のエンパワーメント、活躍の推進 特に経済的な貢献を中心に
7. 権力及び意志決定における女性
特に政治参加などでクォータ制の普及
女性管理職の増加
8. 平和構築・安全保障における女性
9. 女性・女兒と移住労働・人身取引
10. メディア・ICTと女性（メディア・ICTを女性が活用すること、メディア、ICTに描かれる女性像）日本人女性のICT活用率は先進国では低い（OECD調査）
 - 1 1. 男性・男児の役割
 - 1 2. 女性と環境（自然災害とジェンダー平等、女性のエンパワーメントも含む）